

- 問1 19世紀の東アジア情勢において、清がイギリスとのアヘン戦争に敗れたことで生じた変化や結果について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 1. 下関条約を結び、朝鮮の独立を認めるとともに多額の賠償金を支払った。 | 2. ポーツマス条約を結び、満州における鉄道の経営権を譲渡した。 | 3. 南京条約を結び、香港の割譲や上海などの開港を認めさせられた。 | 4. 北京条約を結び、キリスト教の布教の自由を公認した。 |
|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
- 問2 近代の民主政治の歩みを説明した資料において、1863年にアメリカの大統領が行った演説が引用されています。この演説の中で、国家の主権が国民にあることを示し、現代の民主主義のあり方を最もよく表しているとされる一節はどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1. 代表なくして課税なし | 2. すべての人間は平等に造られている | 3. われら合衆国の人民は、より完全な連邦を形成し | 4. 人民の、人民による、人民のための政治 |
|---------------|---------------------|---------------------------|-----------------------|
- 問3 1858年に日米修好通商条約が締結され、横浜などの港で本格的な貿易が開始された際、当時の日本において最大の輸出額を記録していた商品は何ですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|------|
| 1. 絹織物 | 2. 生糸 | 3. 綿糸 | 4. 茶 |
|--------|-------|-------|------|
- 問4 1867年、江戸幕府がパリ万国博覧会へ参加し、幕府や薩摩藩が独自に出品を行っていた時期、国内の政治状況は大きな転換点を迎えました。第15代将軍であった徳川慶喜が、政権を朝廷に返上したこの出来事の名称として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------------|---------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 王政復古の大号令 | 3. 廃藩置県 | 4. 大政奉還 |
|---------|-------------|---------|---------|
- 問5 1842年、江戸幕府はそれまでの強硬な対外政策を改め、外国船に燃料や水を与えて退散させる「薪水給与令」を出しました。この政策転換の直接的な背景となった、イギリスが清を破ったアジアでの出来事として正しいものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-------------|----------|
| 1. アヘン戦争 | 2. 日清戦争 | 3. ロシアの南下政策 | 4. ペリー来航 |
|----------|---------|-------------|----------|
- 問6 18世紀後半から19世紀にかけて、ロシアをはじめとする欧米の船が日本近海に頻繁に現れるようになりました。これに対し幕府は、1825年に日本沿岸に近づく外国船を無差別に攻撃して追い払う法令を出しましたが、その後、1842年にはこの方針を緩め、薪や水、食料を与える「薪水給与令」を出しました。このように幕府が強硬な姿勢を改める直接のきっかけとなった、清（中国）がイギリスに敗北した出来事は何ですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------------|----------|----------|
| 1. 生麦事件 | 2. 日米和親条約の締結 | 3. 矢銭の徴収 | 4. アヘン戦争 |
|---------|--------------|----------|----------|
- 問7 幕末の日本において、輸出用の品物が国内で不足したことに加え、金の流出を防ぐために幕府が貨幣に含まれる金の量を減らす「万延小判」への改鋳を行ったことで生じた、経済への影響として適切な説明はどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 貨幣の価値が下がり、物価が急激に上昇した | 2. 通貨の流通量が不足し、深刻なデフレとなった | 3. 国内の産業が発達し、物価が大幅に下落した | 4. 海外から安い綿織物が流入し、物価が安定した |
|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|
- 問8 幕末に生糸が海外へ大量に輸出されたことは、当時の日本国内の産業にどのような影響を与えましたか。その背景を含めた説明として最も適切なものを選んでください。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。 | 2. 海外から安価な生糸が大量に流入したため、国内の養蚕業が衰退し、米の生産への転換が進んだ。 | 3. 生糸の輸出で得た利益が絹織物業に還元されたため、最新の機械が導入されて生産効率が飛躍的に向上した。 | 4. 生糸に代わって茶の輸出が急増したため、絹織物業に代わって製茶業が国内最大の産業となった。 |
|--|---|--|---|
- 問9 19世紀半ば、江戸幕府がそれまでの強硬な「異国船打払令」を緩和し、「天保の薪水給与令」を出すに至った直接の背景として、当時の国際情勢を説明した文としてふさわしいものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. ロシアの使節ラクスマンが根室に来航し、漂流民を送り届けるとともに通商を強く要求したため。 | 2. フランスで市民革命が起こり、ヨーロッパ全土に自由主義の考え方が広がって幕府の独裁体制が揺らいだため | 3. ペリーが率いるアメリカの艦隊が浦賀に来航し、正式に開国と通商を求める国書を提出したため。 | 4. イギリスがアヘン戦争で清を破ったことを知り、幕府が強硬策を続けることによる戦争のリスクを避けようとしたため。 |
|---|--|---|---|
- 問10 江戸時代に毛利氏が領主を務めた外様大名の藩で、1864年にイギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国連合艦隊によって下関の砲台を占領されるなどの経験を経て、倒幕運動の中心的役割を果たすようになった藩はどこですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 松前藩 | 2. 水戸藩 | 3. 薩摩藩 | 4. 長州藩 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が政権を朝廷に返還した際、彼が目指していた主な狙いとして最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 幕府の組織を完全に消滅させ、自らは政治から引退して地方の一大名として生き残ること | 2. 倒幕派による武力討伐の口実をなくし、朝廷のもとに作られる新しい政治体制でも実権を握ること | 3. 土地や人民を天皇に直接納めることで、全国の藩主たちに新政府への従属を促すこと | 4. 欧米列強の脅威に対抗するため、自らが天皇の位に就いて国政を一元化すること |
|---|---|---|---|
- 問12 幕末から明治初期にかけての政治的変遷について述べた文として、歴史的な因果関係が正しいものはどれですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 鳥羽・伏見の戦いで旧幕府軍が勝利したため、新政府は各藩の領地を認める版籍奉還を中止した。 | 2. 桜田門外の変が起きたことで、日米和親条約の締結をめぐる幕府内の対立がすべて解消された。 | 3. 版籍奉還によって土地と人民を天皇に返上した直後に、江戸幕府を打倒するための薩長同盟が結成された。 | 4. 薩英戦争を経て近代化の必要性を感じた薩摩藩は、土佐藩の坂本龍馬らの仲介により、長州藩と薩長同盟を結んだ。 |
|---|--|---|---|
- 問13 19世紀、イギリスは清との貿易における銀の流出と赤字を解消するため、インドを含めた「三角貿易」の仕組みを構築しました。この貿易において、インドから清へ輸出された品物はどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|------|--------|
| 1. 綿織物 | 2. 香辛料 | 3. 茶 | 4. アヘン |
|--------|--------|------|--------|
- 問14 1867年、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が、倒幕派による武力討伐の口実をなくすために政権を朝廷に返上した出来事を何といいますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 公武合体 | 3. 廃藩置県 | 4. 大政奉還 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 南京条約を結び、香港の割譲や上海などの開港を認めさせられた。	アヘン戦争で近代的な軍事力を持つイギリスに敗北した清は、1842年に南京条約という不平等条約を締結しました。この条約によって、それまで制限されていた貿易が開放されるとともに、領土の割譲という深刻な主権侵害を受けることとなりました。
問2	答え 4 人民の、人民による、人民のための政治	リンカーンによるゲティスバーグでの演説の一節です。この言葉は、政治の主体が「人民（国民）」であることを明確に定義しており、王などの権力者が支配する専制政治から、市民が自ら社会を運営する民主政治へと転換した歴史的背景を象徴しています。
問3	答え 2 生糸	幕末の開港後、日本の貿易では輸出が生糸、茶、次いで海産物などの順で多く、特に生糸は全輸出額の過半数を占める最大の品目でした。主な取引相手国はイギリスであり、日本からは原料（生糸）を出し、欧州からは産業革命によって大量生産された綿織物や毛織物などを輸入するという構造になっていました。
問4	答え 4 大政奉還	徳川慶喜が1867年に政権を朝廷に返上した歴史的事件を大政奉還といいます。この時期、幕府は国際社会へのアピールとしてパリ万博に参加していましたが、国内では倒幕運動が高まっていました。紛らわしい用語である「版籍奉還」は1869年に明治政府が実施した土地と人民の返還を指し、「王政復古の大号令」は大政奉還の直後に倒幕派が発した、幕府の廃止と天皇中心の新政府樹立を宣言したものです。
問5	答え 1 アヘン戦争	当時のアジアの大国であった清が、イギリスとのアヘン戦争に敗れたというニュースは、オランダ風説書などを通じて江戸幕府に大きな衝撃を与えました。幕府は、強力な軍事力を持つ西洋列強と武力で衝突することを避けるため、1825年から続けていた異国船打払令を緩め、穏健な対応へと方針を転換しました。
問6	答え 4 アヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争で、大国である清がイギリスの軍事力に圧倒されて敗北したという情報は、オランダ風説書などを通じて幕府に大きな衝撃を与えました。これにより、従来の「異国船打払令」を続けて外国と武力衝突に発展することを恐れた幕府は、遭難した船などに限り薪や水を与える「薪水給与令」へと政策を転換しました。
問7	答え 1 貨幣の価値が下がり、物価が急激に上昇した	開国後の日本では、輸出向けに生糸などの品物が買い占められたことで国内の物資が不足しました。さらに、金の流出を食い止めるために幕府が行った貨幣改鑄（貨幣の質を落とすこと）によって、貨幣そのものの価値が下落しました。これらの要因が重なったことで激しいインフレーション（物価の上昇）が発生し、庶民の生活は非常に苦しくなり、社会不安が増大しました。
問8	答え 1 輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。	海外での需要が高まり、生糸が大量に輸出された結果、日本国内の市場に出回る生糸が不足しました。これにより生糸の価格が跳ね上がり、原材料を確保できなくなった国内の絹織物業者が苦境に立たされるという経済的な混乱が生じました。
問9	答え 4 イギリスがアヘン戦争で清を破ったことを知り、幕府が強硬策を続けることによる戦争のリスクを避けようとしたため。	幕府が政策を変えた最大の理由は、東アジアの大国であった清がイギリスの近代的な軍事力に屈したというニュースが、オランダ風説書などを通じて幕府に伝わったことです。同様の武力行使を日本が行えば、清と同じように侵略される恐れがあるという危機感が、政策を緩和させる決定打となりました。
問10	答え 4 長州藩	毛利氏を藩主とする長州藩は、関ヶ原の戦い以降、徳川家から遠ざけられた外様大名の立場にありました。幕末には激しい攘夷運動を展開しましたが、下関事件で連合艦隊に敗北したことで、攘夷の不可能性を認識します。その後、藩の軍制を近代化し、同じく有力な外様大名であった薩摩藩と協力して、江戸幕府を倒す運動を強力に主導しました。
問11	答え 2 倒幕派による武力討伐の口実をなくし、朝廷のもとに作られる新しい政治体制でも実権を握ること	徳川慶喜が政権を朝廷に返還した背景には、薩摩藩や長州藩といった倒幕派による幕府討伐の口実を奪う狙いがありました。自ら政権を返すことで討伐の理由をなくし、朝廷のもとで新たに開かれる諸侯会議などの場で中心的な役割を果たし、引き続き実権を握ろうと考えました。
問12	答え 4 薩英戦争を経て近代化の必要性を感じた薩摩藩は、土佐藩の坂本龍馬らの仲介により、長州藩と薩長同盟を結んだ。	薩摩藩は薩英戦争での敗北から、長州藩は下関戦争での敗北から、それぞれ単独での攘夷が不可能であることを学びました。共通の危機感を持った両藩が、坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介によって1866年に薩長同盟を結んだことが、倒幕の決定的な力となりました。土地と人民を朝廷に返還する版籍奉還は、明治新政府が成立した後の1869年に行われた改革であり、同盟よりも後の出来事です。
問13	答え 4 アヘン	イギリスは自国の赤字を解消するため、植民地であるインドで「アヘン」を栽培させ、これを清へ輸出しました。アヘンの代金として清から銀を回収し、その銀を茶の買い付け代金に充てることで、イギリスは貿易収支を好転させようとした。
問14	答え 4 大政奉還	徳川慶喜は、薩摩藩や長州藩などの討幕派が武力で幕府を倒そうとする動きを察知し、自ら政権を朝廷に返すことで、徳川家が参加する形での穏やかな新政府の設立を狙いました。この政権返上の手続きを大政奉還と呼びます。